

(様式 2)

4 学校教育計画

項 目		目標・方針及び計画	
(1)	学習活動 重点1①②	目標	○新学習指導要領の実施に向けて、アクティブラーニングを取り入れ「主体的、対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善を目指す。 ○商業科で学ぶ内容を生かし、より多くの上級資格が取得できるように支援する。
		計画	○5月21日から6月8日の互見授業週間に一人あたり2回以上の互見授業参観をおこなう。 ○年度当初の授業を50として、アクティブラーニングの視点から年度末までの授業の工夫・改善率を数値化する。 ○商業科では授業で学んだ内容が資格取得につながることを認識させ授業の中で知識・技術の習得を図る。朝・放課後や休日の質問教室にて基礎基本の演習を多くおこなうことで上級資格の取得に努める。
(2)	学校生活 重点2①②	目標	○正しい判断力を養い、規則正しく責任ある生活態度を身につけ、心身とともに健全な人格の育成を目指す。 ○情報モラル・セキュリティに関する意識の高揚を図る。
		計画	○高校生活に目的意識を持たせ、基本的な生活習慣の確立と自らを律する心の育成を図る。 ○全校集会やホームルーム等の機会を通じて、 善悪の判断や規範意識の向上と規律正しい学校生活の確立を図る。 ○生命の尊重や安全について、集会等のあらゆる機会ですべての徹底を図り、交通安全についてはマナーの遵守と危険防止への継続的な指導を行う。 ○全職員の共通理解に基づく、有機的な生徒指導を展開する。 ○携帯電話のメールやネットに係るトラブルに巻き込まれないように、授業などを通じてその危険性を十分理解させ、被害を未然に防ぐよう努める。
(3)	進路支援 重点3①②	目標	○生徒一人ひとりが、自らの在り方・生き方を考え、主体的に自己実現に向けて取り組めるように支援する。
		計画	○適切な進学及び就職の指導を行い、 進路意識の向上と早期の進路目標の設定 に努める。 ○進路支援として取り組んでいる総合的な学習の時間や進路ガイダンス、面接指導、大学等出張講義、インターンシップが進路決定に効果的に機能するよう工夫し、計画的に進める。 ○進路実現に向けて学習面、生活面にしっかり取り組ませる指導を行う。
(4)	特別活動 重点4①②	目標	○集団活動を通じて、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、社会の一員としてより良い生活を築こうとする自主的実践的な態度を育成する。 ○社会の諸問題を積極的に考察し、解決していこうとする姿勢を育てる。
		計画	○生徒会活動やホームルーム活動の 主体的な活動を通して、自主・自律の生活態度を養い、明るい活力ある学校づくりに努める。 ○身近なボランティア活動への参加推進と参加しやすい環境づくりを工夫し、公共心を備え、地域の期待や信頼に応える人格の育成を図る。 ○部活動等の課外活動も大切な人間形成の場であると位置づけ、適切な支援と指導を行い、活動の活性化を図る。 ○外部講師による教養講座等を企画し、生徒に考えさせる機会を提供する。